

STANDARD

証券コード: 2498

2026年9月期第2四半期 決算説明会

2026年5月27日

代表取締役社長 野崎 秀則



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

プレゼンテーション・アウトライン

- I： 当社グループのご紹介
- II： 今回の決算説明会のポイント
- III： 2026年9月期 第2四半期業績・成果ハイライト
- IV： 2026年9月期 通期業績見通し
- V： 配当その他
- VI： 質疑応答

I：当社グループのご紹介



ORICON HD

(1)当社グループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、着実に成長してまいりました。

1957年	○(株)オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年～	○オリコンサルグループを形成 ○株式公開(現 STANDARD)
2006年～	○オリコンサルグループを継承し、(株)ACKグループを設立 ○(株)オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 ○グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画
2018年～	○(株)オリエンタルコンサルタンツホールディングスに社名変更
2025年	○持株会社として当社グループは20周年を迎える

1957年～



1999年～



2006年～



2018年～



(2)当社グループの提供サービス

国内外の社会インフラを中心に、
企画・提案～計画・設計～建設・監理～運営・保全まで、
多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】当社グループが対象とする社会インフラ(抜粋)

(3)グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している6社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	道路・交通・都市・地域・環境・構造・ 防災・プロジェクトマネジメント など
(株)オリエンタルコンサルタンツ グローバル	2014年	道路・鉄道・港湾・空港・地域開発 経済及び産業開発計画 など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、 地下水、建造物解体、施工 など
(株)中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・ 設計・施工管理・維持管理 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・ 測量・計器類 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	アプリソフトウェア開発・販売、 バックオフィスソリューション など

主要な連結会社を記載

Ⅱ：今回の決算説明会のポイント



今回の決算説明会のポイント

1 ■上期の売上高、利益は過去最高を更新

単位：百万円

<売上高>

前期比 5.9%増

46,292 49,046

前期実績
(2025/9)
(2Q)

当期実績
(2026/9)
(2Q)

<営業利益>

前期比 15.6%増

3,998 4,620

前期実績
(2025/9)
(2Q)

当期実績
(2026/9)
(2Q)

<当期純利益>

前期比 22.1%増

2,866 3,500

前期実績
(2025/9)
(2Q)

当期実績
(2026/9)
(2Q)

今回の決算説明会のポイント

2

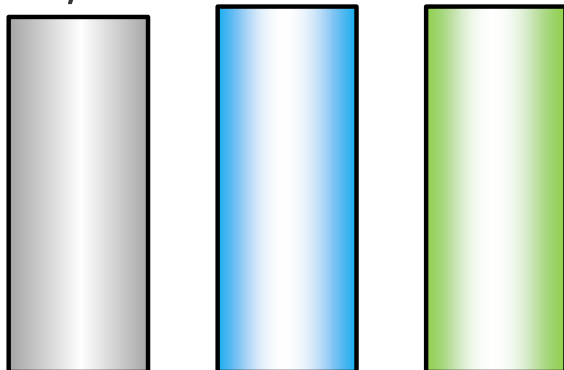
- 通期の連結業績見通しに変更なし
- 通期は売上高、営業利益とも**過去最高**を更新見込

単位: 百万円

<売上高>

前期比 1.7%増

95,365 97,000 97,000

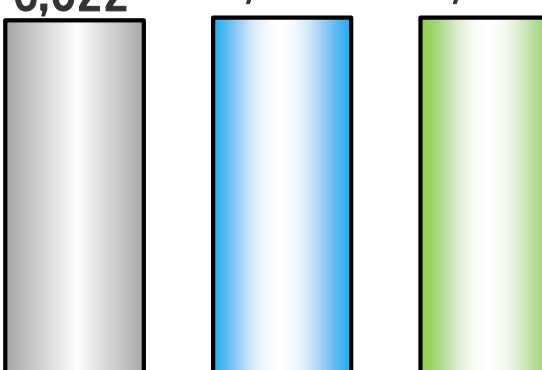


前期実績 (2025/9) 当期見込 (2026/9) 当期計画 (2026/9)

<営業利益>

前期比 3.2%増

5,622 5,800 5,800

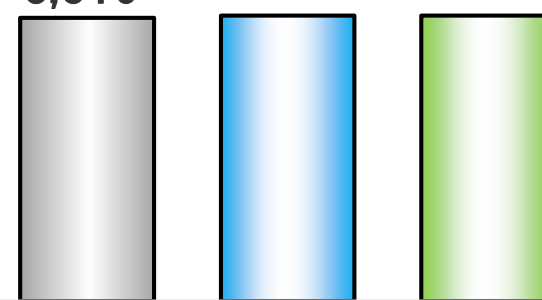


前期実績 (2025/9) 当期見込 (2026/9) 当期計画 (2026/9)

<当期純利益>

前期比 0.8%増

3,819 3,850 3,850



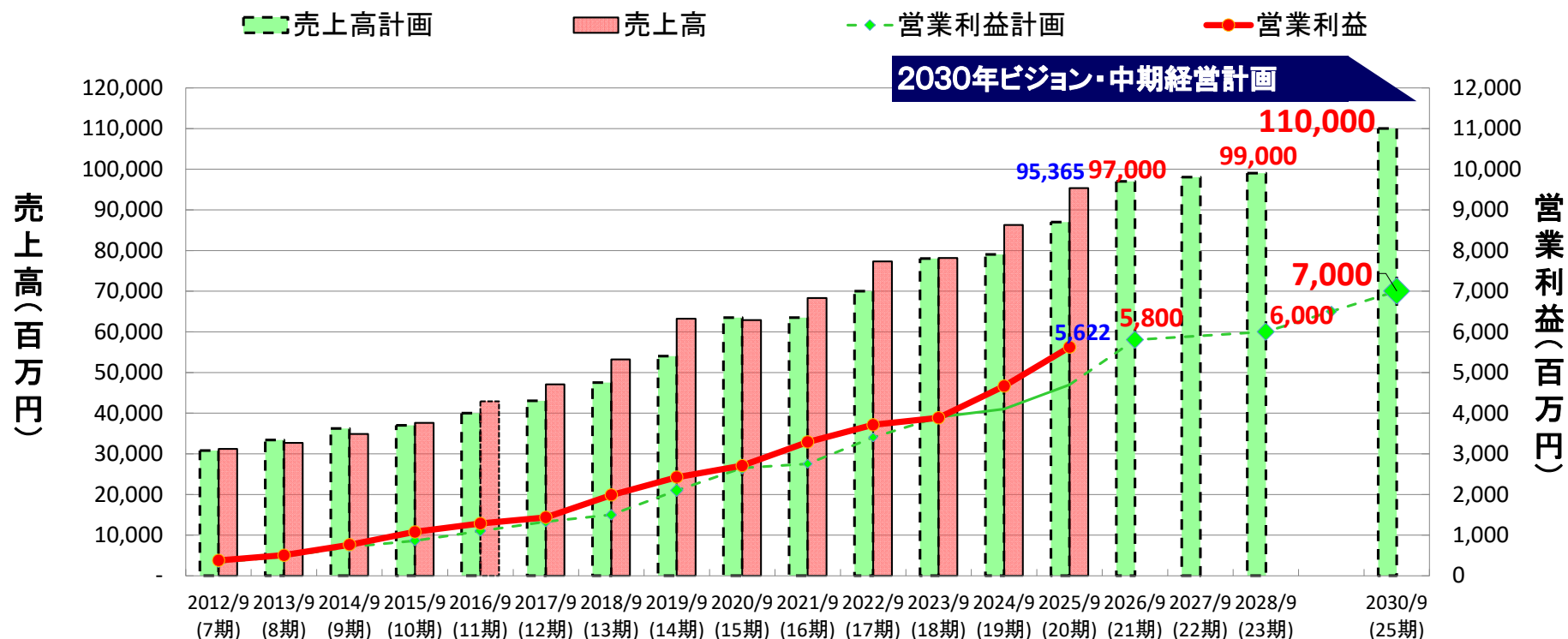
前期実績 (2025/9) 当期見込 (2026/9) 当期計画 (2026/9)

※ 当期計画: 期首時点において計画した通期業績値
当期見込: 第2四半期時点における通期業績見込値

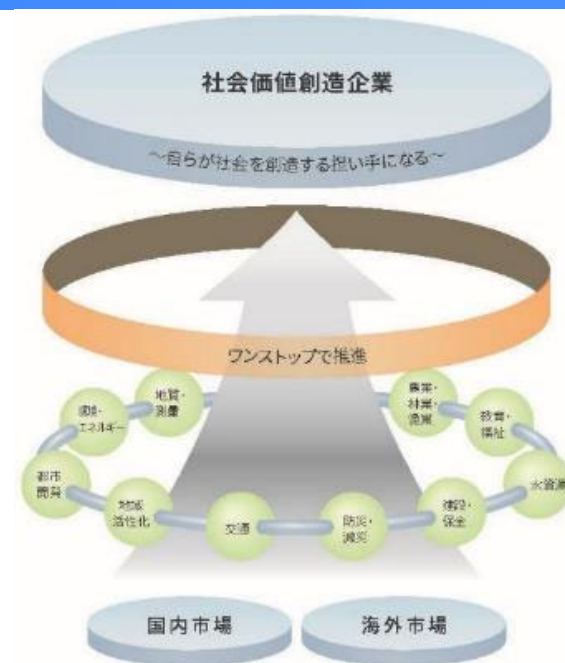
今回の決算説明会のポイント

3

- さらなる成長に向け、**2030年ビジョン・中期経営計画**を推進
- 2030年9月期は、**売上高1,100億円、営業利益70億円**を目指す



Ⅲ：2026年9月期 第2四半期業績・成果ハイライト





1. 2026年9月期 第2四半期業績

(1)連結受注高

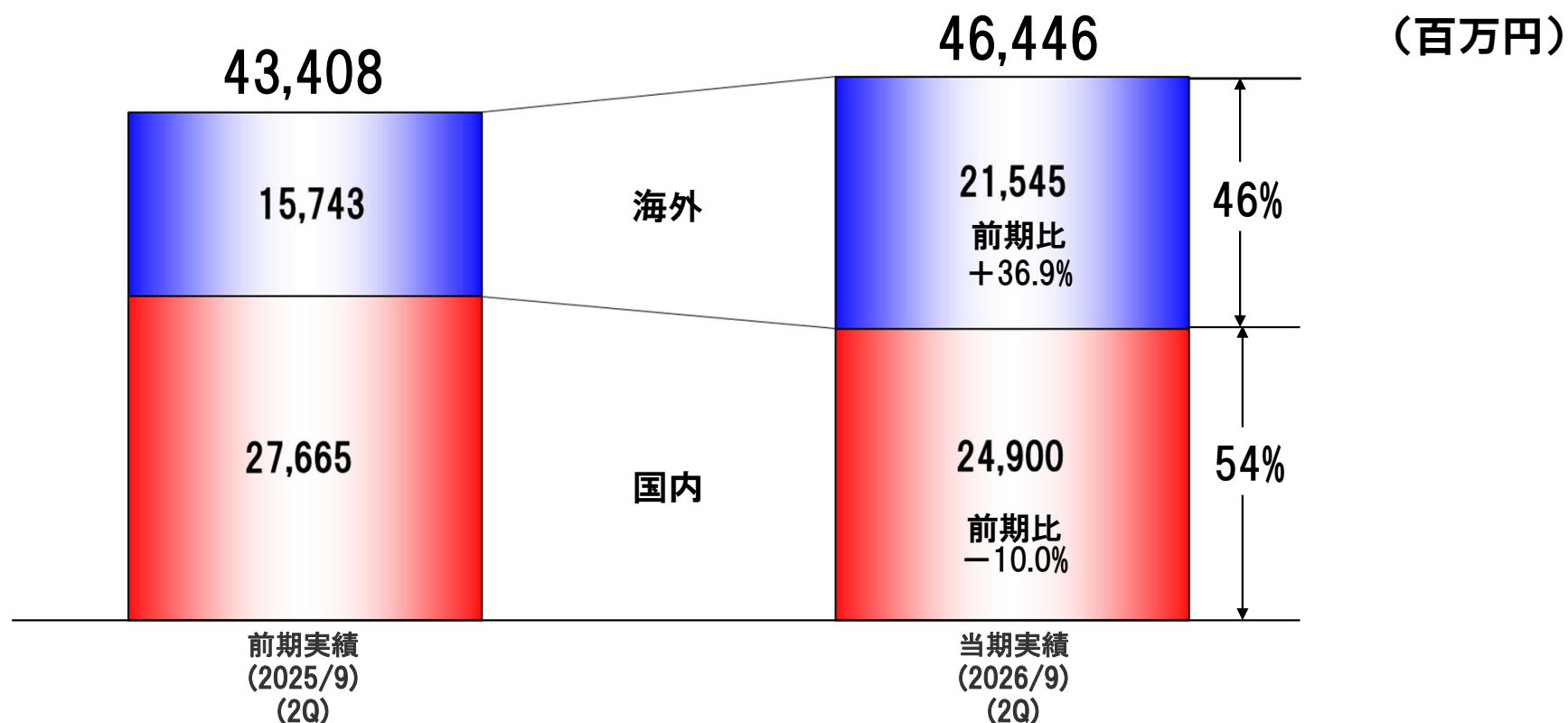
- 受注高は、前期比で30億円(7.0%)増加し、464億円
- 受注残高は、前期比で42億円(2.9%)増加し、1,494億円

	(百万円)		
	前期実績 (2025/9(2Q))	当期実績 (2026/9(2Q))	増減
受 注 高	43,408	46,446	↑ +3,038 (+7.0%)
受 注 残 高 ※	145,265	149,497	↑ +4,232 (+2.9%)

※受注残高:受注済で、将来、売上可能な総額

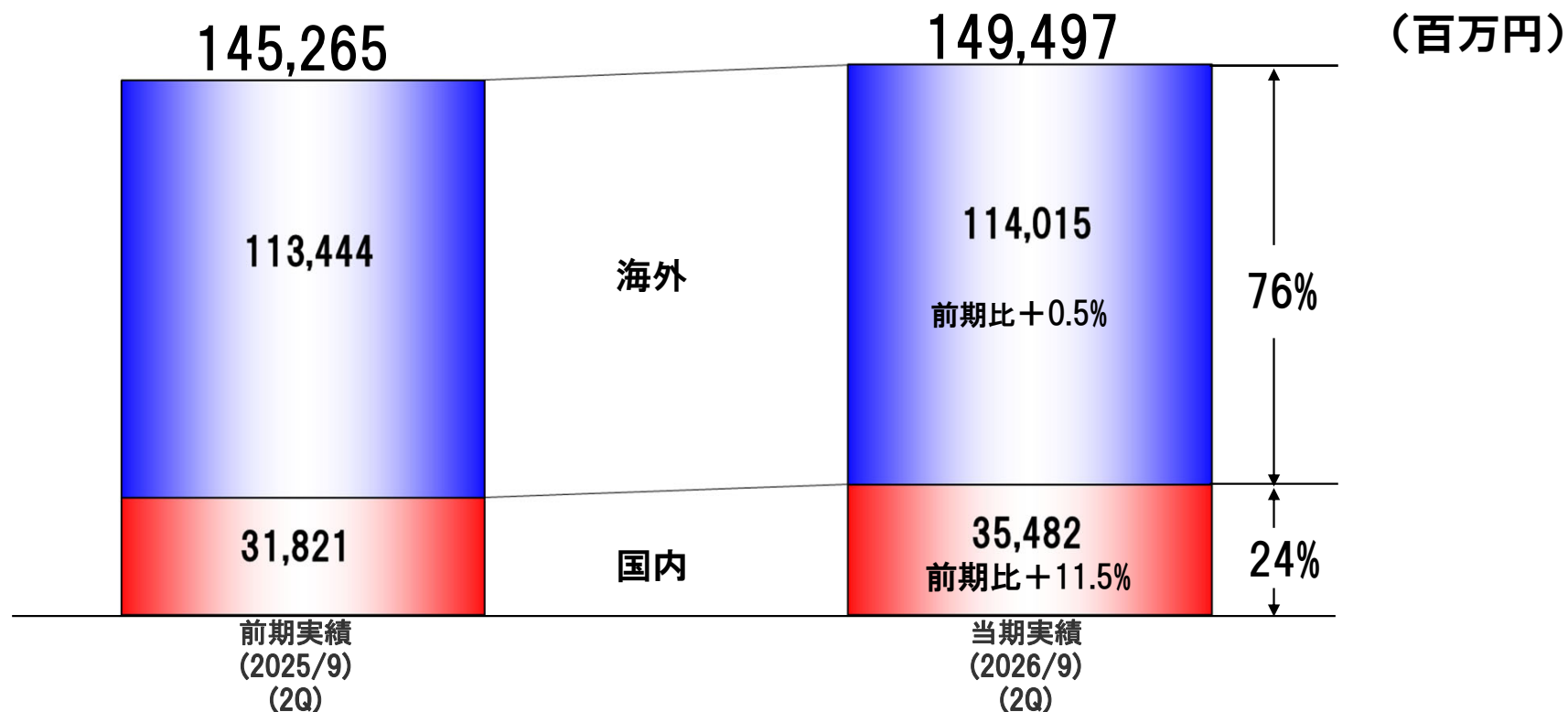
(2)連結受注高 国内外市場別

- 国内は、前期に大型の解体工事等を受注した影響で減少
- 海外は、開発途上国でのインフラ整備の需要は依然旺盛で良好な受注環境



(3)連結受注残高 国内外市場別

- 国内外とも、安定した受注環境のもと、成長を持続
- 海外は、通期海外売上高の約3年分の受注残高1,140億円であり、
中期的に安定した売上高を確保



(4)連結売上高、利益

■売上高、営業利益、経常利益、純利益とも過去最高を更新

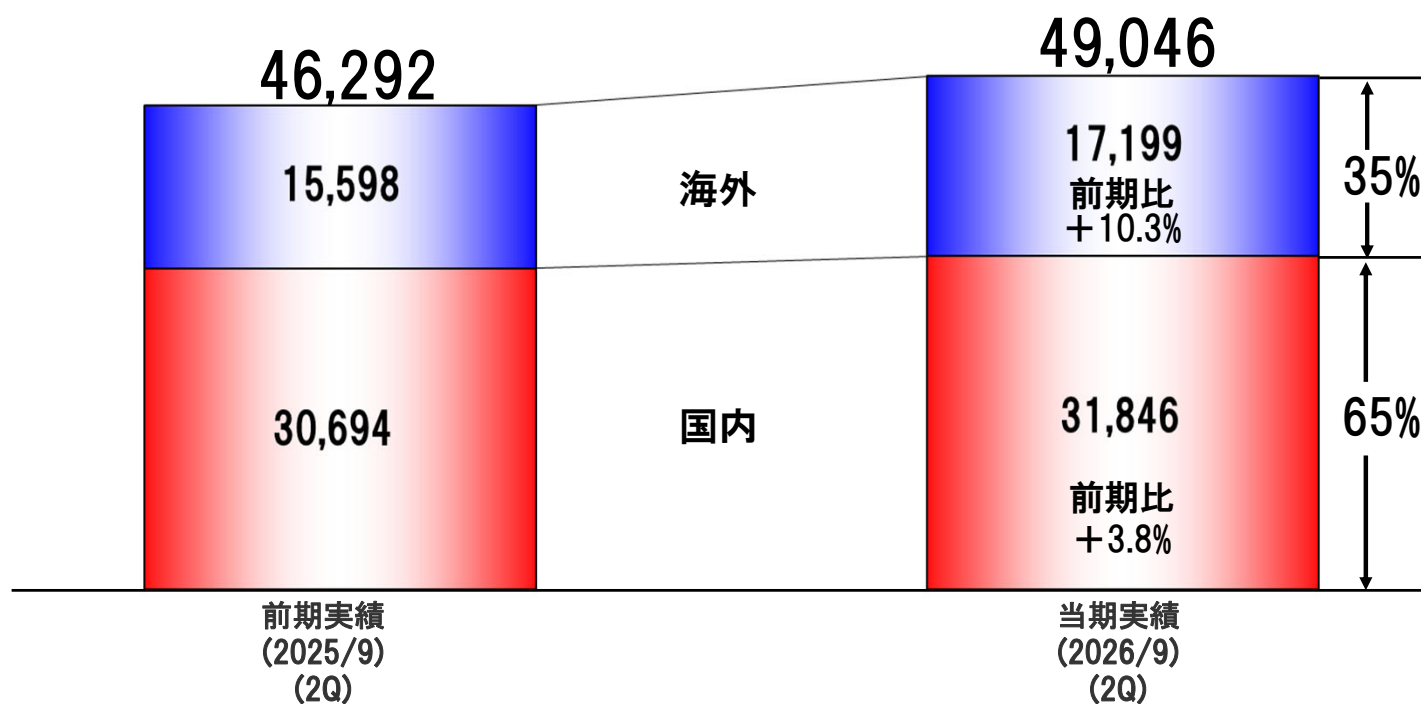
(百万円)

	前期実績 (2025/9(2Q))	当期実績 (2026/9(2Q))	増減
売上高	46, 292	49, 046	↑ +2, 753 (+5. 9%)
営業利益	3, 998	4, 620	↑ +622 (+15. 6%)
経常利益	4, 220	5, 121	↑ +901 (+21. 4%)
当期純利益	2, 866	3, 500	↑ +634 (+22. 1%)

(5)連結売上高 国内外市場別

■国内外とも、過去最高を更新

(百万円)



2. 2026年9月期 第2四半期成果ハイライト



(1)事業創造・拡大(国内市場の競争力強化)

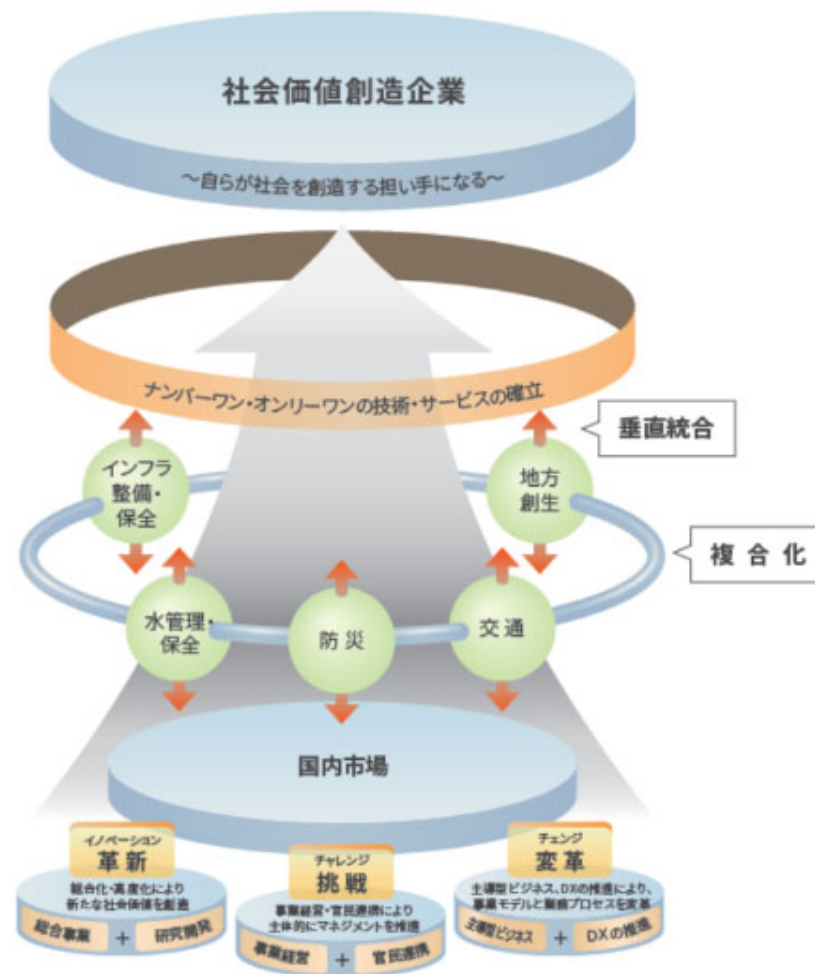
■5つの重点化事業の推進により、
ナンバーワン・オンリーワンを確立

- ①インフラ整備・保全
- ②水管理・保全
- ③防災
- ④交通
- ⑤地方創生

■総合事業、研究開発を推進し、
新たな社会価値を創造

■DXの推進により、事業モデルを変革

■事業経営、官民連携の推進により、
主体的にマネジメントを最適化



(2)事業創造・拡大(海外市場の競争力強化)

■海外の国家的プロジェクトに総合力で貢献

■5つの重点化事業の推進等により、

ナンバーワン、オンリーワンのグローバル企業グループを確立

⑥民間事業

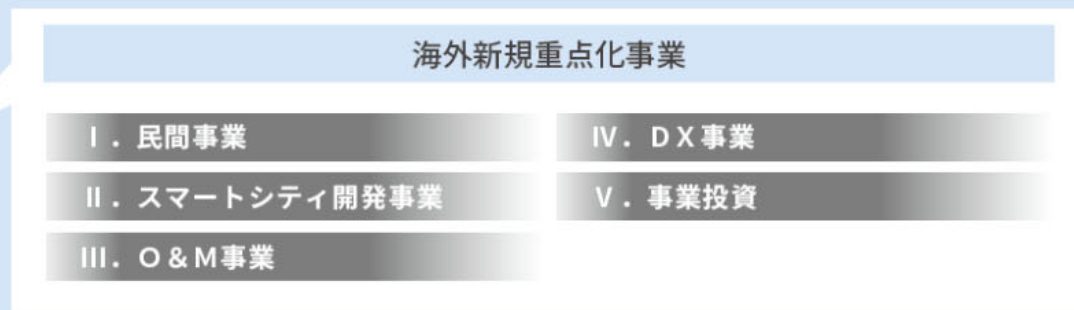
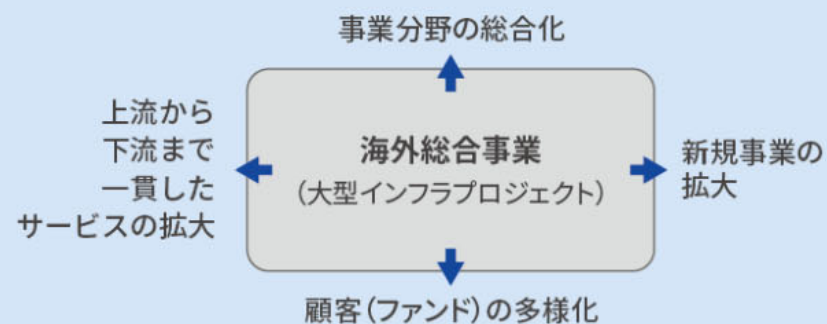
⑦スマートシティ開発事業

⑧O&M*事業

⑨DX事業

⑩事業投資

■グループ連携により、海外拠点整備や新たなグローバルビジネスを世界に展開



※ 「O&M」とは、オペレーション&メンテナンスの略で、運転管理業務、維持管理業務を行う事業のこと

(3)事業創造・拡大(重点化事業)

- 2026年9月期は、約130件の重点化プロジェクトを実施中
- 海外の重点化プロジェクトは非ODAの拡大を推進

重点化事業			重点化PJ					
			前期実績 (2025/9)			当期見込 (2026/9)		
			OCHD	各社	計	OCHD	各社	計
国内	①	インフラ整備・保全	4	35	39	5	43	48
	②	水管理・保全	3	20	23	4	13	17
	③	防 災	5	8	13	5	6	11
	④	交 通(高度化・総合化)	5	13	18	3	16	19
	⑤	地方創生	2	16	18	2	20	22
海外	⑥	民間事業	3	1	4	3	1	4
	⑦	O&M事業		1	1		1	1
	⑧	スマートシティ開発事業	1	1	2		1	1
	⑨	DX事業	3	1	4	4	1	5
	⑩	事業投資		1	1		1	1
合 計			26件	97件	123件	26件	103件	129件

(4)国内事業

<インフラ整備・保全>

■公募する「富山空港特定運営事業等」において優先交渉権者に選定され、4月より事業を開始

- ・(株)日本共創プラットフォーム様を代表企業とするJPiX・OC コンソーシアムに参画し、富山県が公募する本事業に選定
- ・JPiX・OC コンソーシアムは SPC（特別目的会社）として「富山エアポート社」を設立し、4月より富山空港特定運営事業等を実施



富山空港のターミナル

■AI 橋梁支援システムを活用した橋梁点検を試行

- ・東京都町田市と連携し、市職員による橋梁の直営点検で撮影した現況写真と橋梁の諸元データを基に、状態把握から損傷評価に至るフェーズにおいて AI による支援を試行
- ・AI 技術を活用したインフラメンテナンスの高度化と効率化を推進し、地方自治体の橋梁マネジメントを支援

【AIの活用・展開】⇄⑥

橋梁の状態・損傷（諸元情報、現地写真等）をクラウドにアップロードし、AIに分析させることで、損傷程度の評価が可能。
職員の技術力向上を図り、溝橋等での直営点検への移行を支援。

AIの活用概要

(5)国内事業

<水管理・保全、防災>

■ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)を8年連続で受賞

- ・国土交通省北陸地方整備局様と協働で実施した「地域防災力の強化に向けた3D都市モデルを活用した水害リスクに係る防災教育による流域治水の自分事化の促進」が優秀賞を受賞
- ・今回で2019 年以降8年連続、延べ11 回目の受賞

- ・ 2019年→最優秀賞受賞
- ・ 2020年→優秀賞受賞
- ・ 2021年→優秀賞2件受賞
- ・ 2022年→最優秀賞受賞
- ・ 2023年→最優秀賞受賞
- ・ 2024年→最優秀賞受賞
- ・ 2025年→グランプリ、優秀賞受賞
- ・ 2026年→優秀賞受賞

■神奈川県葉山町の下水道ウォーターPPP(管路施設管理・更新一体マネジメント)事業に選定

- ・葉山アゼリアパイプワークス共同企業体の構成企業として、本事業の優先交渉権者に選定され、事業契約を締結
- ・国内初の下水道管路施設のみを対象とした更新実施型のウォーターPPPであり、本事業を通じて水質保全、脱炭素、経費削減、更新費用の抑制など、将来にわたり持続可能な下水道経営に貢献



契約締結式の様子

(6)国内事業

<交通(高度化・総合化)>

■新たな交通環境の構築を目的に路線バスと連携したシェアサイクルの社会実験を実施

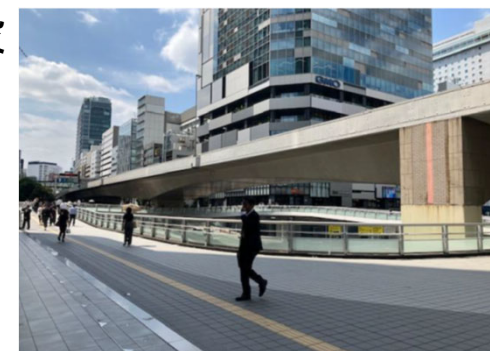
- ・東海道本線の大船・藤沢間に新設される村岡新駅(仮称)の周辺地区での新たな交通環境の構築に向けた検討の一環として、シェアサイクルを中心とした社会実験を実施
- ・自家用車に頼りすぎない交通環境の実現に向け、シェアサイクルの周知と利用促進により、日常的な移動手段としての定着を目指し推進



情報提供の案内と稼働する二次元コード

「都心部における基盤整備のあり方～国道246号渋谷駅周辺整備～」が令和6年度全建賞を受賞

- ・計画・設計・施工検討等に関わった本事業が、一般社団法人全日本建設技術協会の令和6年度全建賞を受賞
- ・国道246号渋谷駅周辺整備は、歩行者空間の不足解消や動線の改善を図るもので、事業の目的である歩行者動線の安全性・回遊性向上などを実現した取り組みであることが評価



渋谷駅周辺の整備の様子

(7)国内事業

<地方創生>

- “道の駅を制覇したプロたちが選ぶ2026年版道の駅大賞”にて、
2年連続で、全国総合部門第1位を受賞

- ・ 運営している「道の駅まえばし赤城」が、株式会社宝島社が発行する『田舎暮らしの本』の特集において、全国1,231か所の中から2年連続で全国総合第1位に選出
- ・ 本道の駅は、2025年度の来場者数は、2024年度の約440万人に劣らない来場があり、全国有数の集客力を有する道の駅として成長



- 瀬戸酒造店が2025年世界酒蔵ランキングで2年連続、3回目のTOP10に認定

- ・ 子会社の瀬戸酒造店が、ランキング対象の酒蔵698蔵の中から2025年世界酒蔵ランキングで9位に認定され、2022年の9位、2024年の8位に続き、2年連続3回目のTOP10入り
- ・ 開成町の地域資源を活かした農泊体験やグリーンインフラプロジェクトを充実させ、地域の魅力を最大限に活かし、今後の地域活性化に貢献



世界酒蔵ランキングTOP10の酒蔵と瀬戸酒造店

(8)海外事業

<海外総合事業>

■鉄道、道路、建築など総合的なセクターで事業を実施

マニラ首都圏地下鉄CP105工区 起工式(フィリピン国)

- ・ 施工監理を担当するプロジェクトの起工式が開催され、フィリピン国のマルコスJr 大統領なども出席
- ・ 首都圏で大型都市鉄道事業を集中的に実施しており、交通混雑や大気汚染の緩和などに期待



起工式の様子 右から5人目
マルコスJr 大統領

パル第四橋及びアクセス道路 開通式(インドネシア国)

- ・ 2018年に発生したスラウェシ島地震で崩壊したパル第四橋及びアクセス道路の再建が完了、開通式を実施、調査、設計、入札支援、施工監理まで一貫して従事
- ・ パル市内の東西方向の交通の確保により、物流の改善による経済復興および発展への寄与に期待



再建されたパル第四橋

都市建物安全化事業 消防本部庁舎起工式(バングラデシュ国)

- ・ 詳細設計、入札支援、施工監理のコンサルティングサービスを実施している「バングラデシュ国 都市建物安全化事業」の消防本部庁舎の起工式を実施
- ・ 災害に強い公共インフラ整備の重要な節目となる本事業を通じて、バングラデシュにおける緊急対応能力の向上と人命および財産の保護を推進



起工式の様子

(9)海外事業

＜スマートシティ開発事業＞

■ハイブリッド再エネ発電システム実証事業を開始（サウジアラビア国）

- ・ 風力発電と太陽光発電、蓄電池システムを制御する「ハイブリッド再エネ発電システム」の実証事業を開始
- ・ 本システムの導入により、再エネの安定電源化、余剰電力の活用、既設変電所の過負荷の抑制の実現を目指す



実証事業イメージ図

■準天頂衛星システム「みちびき」を活用した道路維持管理の実証試験を実施（フィリピン国）

- ・ 日本の高精度衛星測位システム「みちびき」と車両搭載センサーによる路面性状把握技術を組み合わせた、次世代道路交通運営維持管理プロジェクトの調査をフィリピン国ダバオ市で開始
- ・ OCG出資会社である米国 i-Probe Inc. のアジア展開の第一歩となる戦略案件であり、フィリピンを起点にグローバルサウスへの展開を目指す



走行中のシステム画面

(10)外部評価①

■令和7年度 土木学会 田中賞(作品部門)、国際貢献賞・国際活動奨励賞・技術功労賞を受賞

(田中賞(作品部門):オリエンタルコンサルタンツ)

- ・設計を行った「TORANOMONHILLS横断歩道橋」(東京都港区虎ノ門)が受賞
- ・限られた敷地条件の中で、事業性から要求される高い意匠性と明るく安心感のある空間を創出しつつ、建築物と橋梁の構造的調和を実現

(国際貢献賞:オリエンタルコンサルタンツグローバル)

- ・執行役員兼インド現地法人取締役会長 阿部玲子さんが受賞
- ・30年以上にわたり、トンネルエンジニアとして、インド、台湾、ウクライナ、インドネシアなどのメトロや新幹線事業やインフラ事業に従事

(国際活動奨励賞:オリエンタルコンサルタンツグローバル)

- ・総合開発事業部建築開発部 澤下理恵さんが受賞
- ・20年以上にわたり、途上国を中心とした土木建設分野において、調査・設計・施工監理から人材育成まで多岐にわたり活躍

(技術功労賞:オリエンタルコンサルタンツグローバル)

- ・元技術本部フィリピン鉄道事業統括室理事 宮田宗彦さんが受賞
- ・約60年にわたり、鉄道建設の分野で調査・設計・施工監理の専門家として尽力



TORANOMONHILLS横断歩道橋



阿部玲子さん



澤下理恵さん



宮田宗彦さん

(11)外部評価②

■海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰に2名が受賞

- ・軌道交通技術第一部 理事 長澤 一秀さんが国土交通大臣賞を受賞
受賞プロジェクト ヤンゴン環状鉄道改修事業(ミャンマー)
- ・都市地域開発部 次長 細野 美晴さんが国土交通大臣奨励賞を受賞
ココポ・ラバウルにおけるインフラ開発計画策定プロジェクト
(パプアニューギニア)



長澤 一秀さん(表彰式) 細野 美晴さん(表彰式)

■アジア土木学協会連合協議会(ACECC)功績賞を受賞

- ・執行役員兼インド現地法人代表取締役会長 阿部玲子さんが、アジア土木学協会連合協議会(ACECC)功績賞を受賞
- ・トンネルエンジニア・プロジェクトマネージャーとして30年以上のキャリアを有し、インドのデリーメトロなどの鉄道事業に携わるとともに、内閣府の活動や大学等での講演を通じ、後進の育成にも尽力するなどの活動が評価され受賞



授賞式の様子

(12)魅力ある企業に向けた活動

■グループ4社が「健康経営優良法人2025」に認定

- ・オリエンタルコンサルタンツは2年連続
- ・オリエンタルコンサルタンツグローバルは今回初
- ・アサノ大成基礎エンジニアリングは今回初
- ・エイテックは7年連続
- ・従業員の健康増進、企業の持続可能な成長を、今後も継続的に推進



■グループ4社が「くるみん」「えるぼし」を取得

- ・オリエンタルコンサルタンツは「くるみん」を取得
- ・オリエンタルコンサルタンツグローバルは「くるみん」と「えるぼし」を取得
- ・アサノ大成基礎エンジニアリングは「くるみん」を2025年新たに取得
- ・エイテックは「くるみん」を2025年新たに取得
- ・多様なライフスタイルを尊重し合える活気ある職場づくりを目指し、今後も継続的に推進



Ⅳ：2026年9月期 通期業績見通し



(1)受注環境

■国内、海外とも当面**良好な受注環境が継続**

国 内

■2025年度までの「**防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策**」に続き、2026年度からは「**第1次国土強靱化実施中期計画**」が開始
当面**良好な受注環境が継続**

海 外

■開発途上国での**インフラ整備の需要は依然旺盛**であり、
当面**良好な受注環境が継続**

(2)2026年9月期 通期業績見通し

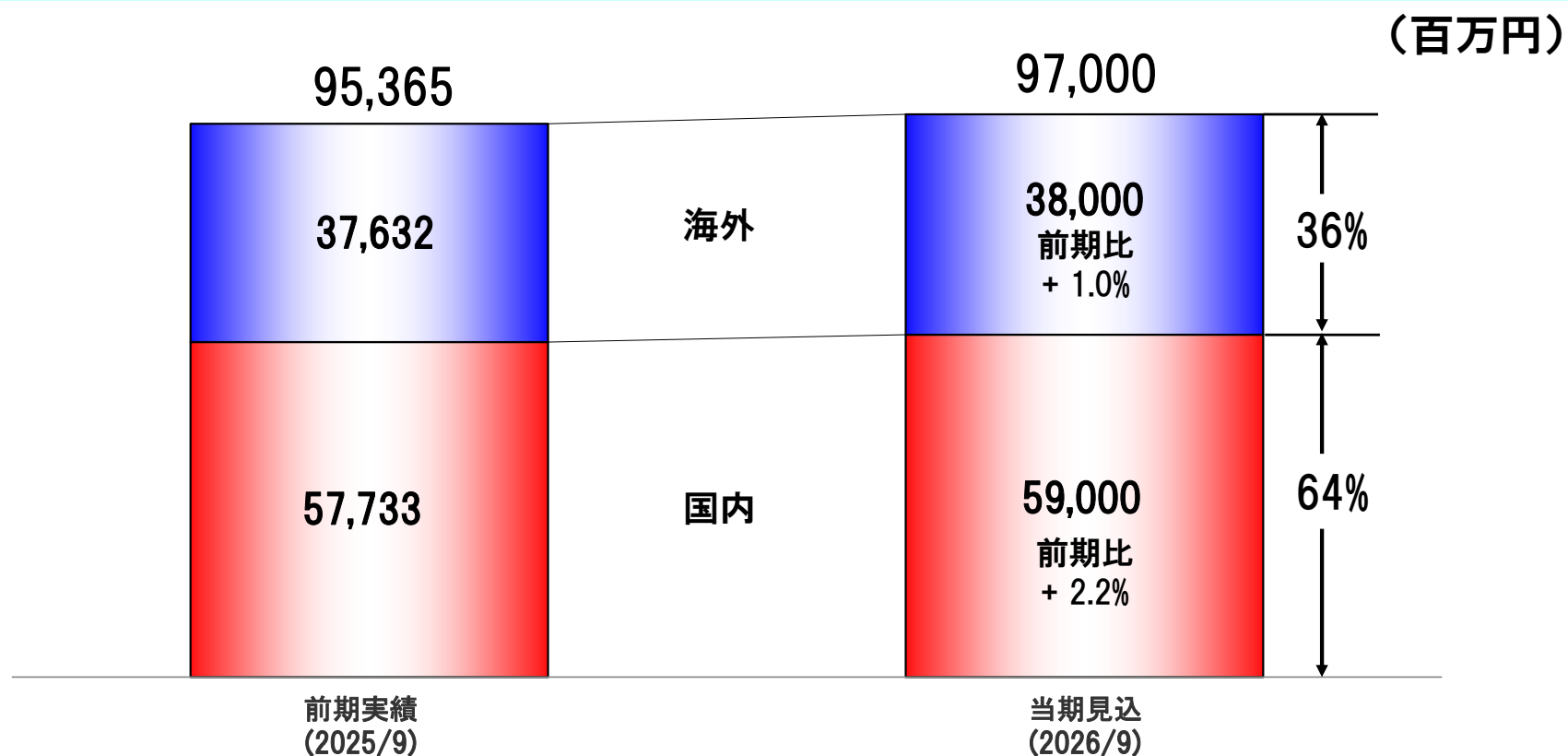
■通期の連結業績見通しに変更なし

■売上高、営業利益、当期純利益は前期実績を上回る、**過去最高**の業績を更新見込

	前期実績 (2025/9)	当期見込 (2026/9)	増減	(百万円) 当期計画 (2026/9)
売上高	95,365	97,000	↑ +1,635 (+1.7%)	97,000
営業利益	5,622	5,800	↑ +178 (+3.2%)	5,800
経常利益	5,777	5,600	↓ -177 (-3.1%)	5,600
当期純利益	3,819	3,850	↑ +31 (+0.8%)	3,850

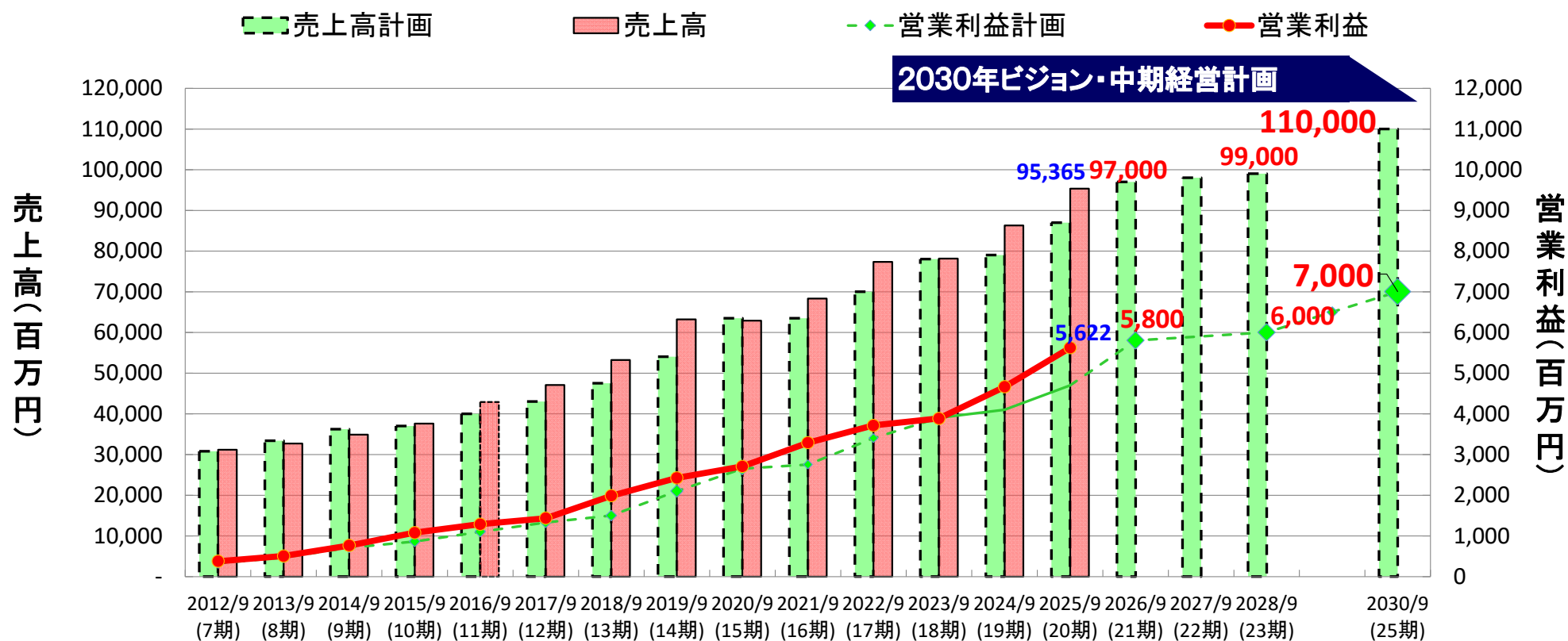
(3)2026年9月期 連結売上高 国内外市場別

■国内、海外ともに、前期実績を上回る**過去最高**の売上高の見込



(4)2030年に向けた売上高・営業利益

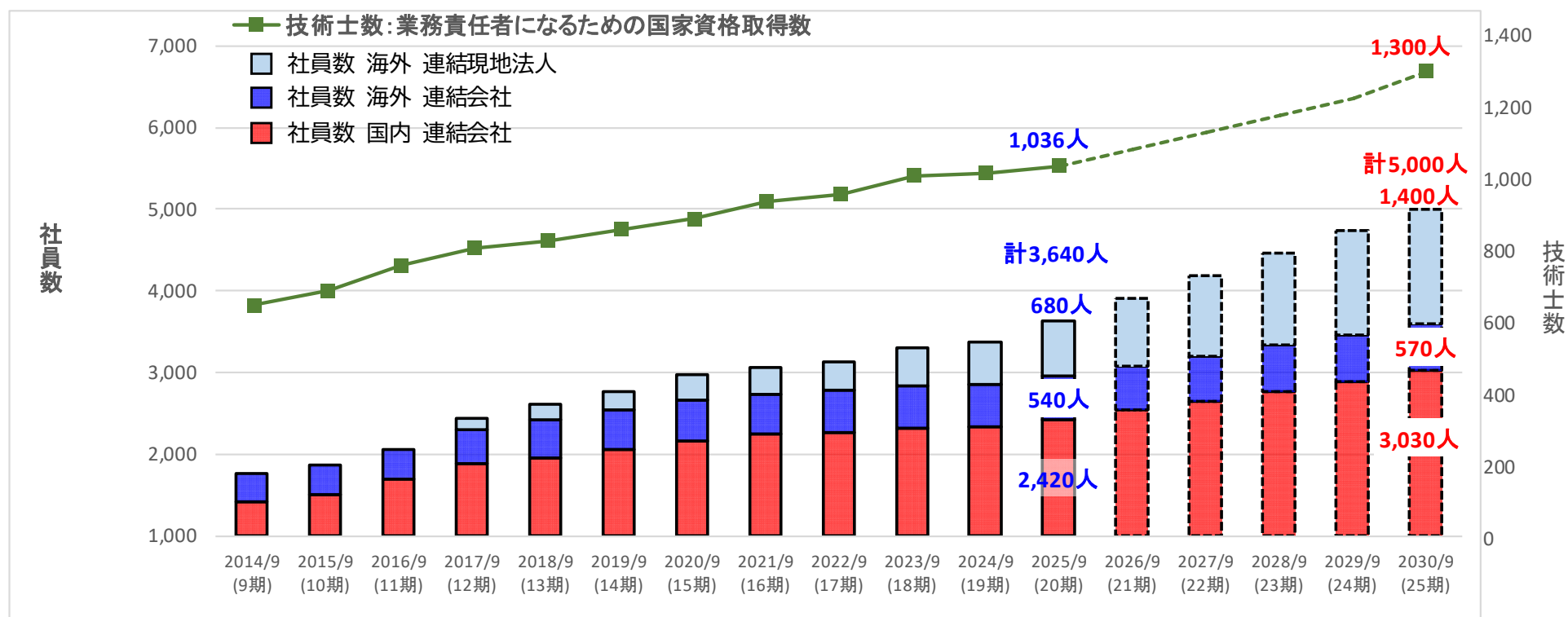
■さらなる成長に向け、2030年9月期は、**売上高1,100億円、営業利益70億円**を目指す



(5)2030年に向けた人材

■2030年9月期には、社員数5,000人以上、技術士数1,300人以上を目指す

2030年ビジョン・中期経営計画



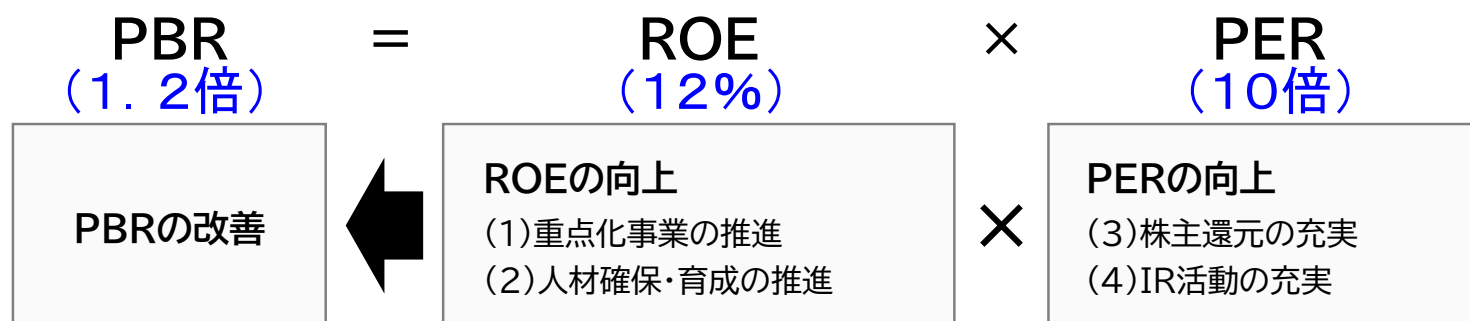


V : 配当その他

(1) 資本コストや株価を意識した経営

- 次の方針・目標を踏まえ、**PBR1倍以上の維持・向上**を目指す
- 2026年3月末時点の**PBRは1.2倍**

	方針・目標
業 績	2030年目標 連結売上高 1,100 億円以上 連結営業利益 70 億円以上 連結営業利益率 6%以上
資本効率	高ROE の維持・向上
株価向上	配当性向40%程度を目安に配当



株価及び1株当たり純資産は2026年3月末時点の数値、1株当たり当期純利益は2026年3月末時点の2026年9月期の連結業績予想値により算定

(2)配当方針・配当性向

<配当方針>

■長期的に安定した利益還元のために、次の事項を総合的に勘案して配当を決定

過去の連結業績の推移

今後の連結業績の見通し

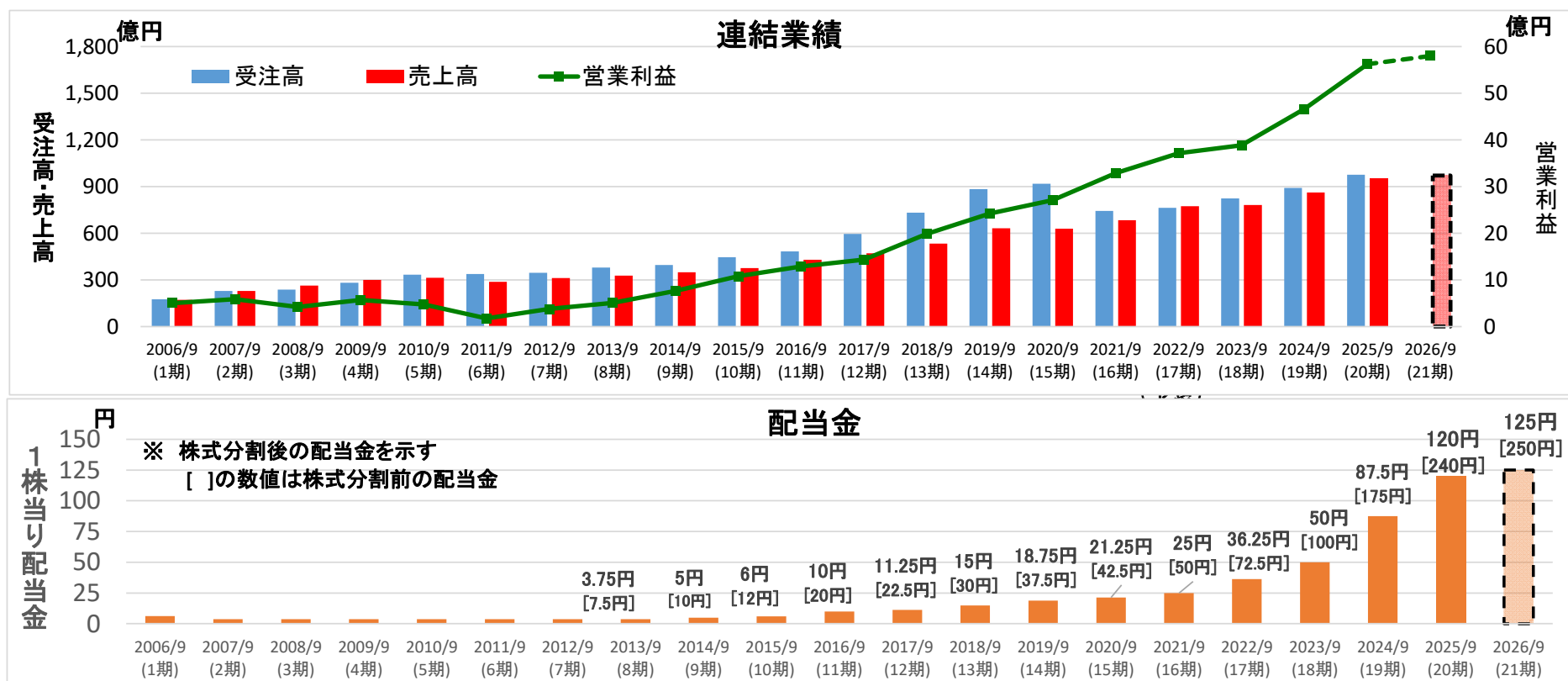
配当性向・配当利回り・自己資本比率等の指標

<配当性向>

■2025年9月期より、配当額算定の指標として、**配当性向は40%程度を目安に設定**

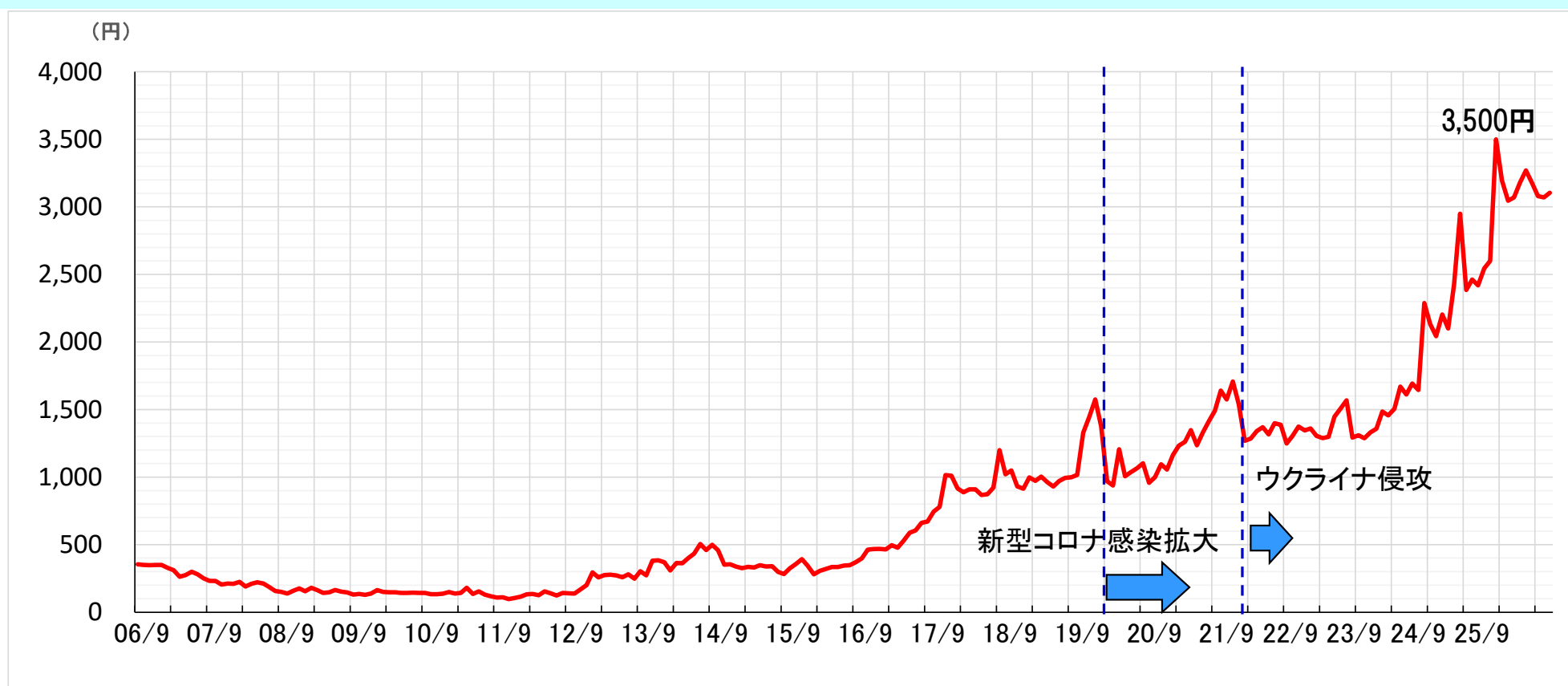
(4)株主配当

- 前期、過去最高の240円(株式分割後換算120円)で、
10年で約20倍、直近2年で約2.4倍増
- 今期の1株当たり配当予想は、過去最高の125円(株式分割後)



(5) 株価の推移(株式分割後の数値にあわせて整理)

■2025年8月以降、株価は3,000円台に上昇し、過去最高の3,500円を記録



(5)自己株式の取得状況

- 毎期、継続して自己株式を取得
- 自己株式は、従業員持株会信託型ESOPに活用し、**社員のモチベーションを向上**

期		取得した自己株式数 (株式分割後換算)	取得原価
2023年9月期		11.1万株	161百万円
2024年9月期		20.0万株	322百万円
2025年9月期		22.7万株	585百万円
2026年9月期	3月末 取得実績	30.9万株	988百万円

2030年。そして、その先の未来へ。

これからも私たちは、『**社会価値創造企業**』として
“**世界の人々の豊かなくらしと夢の創造**”
に**貢献**してまいります。



社会価値創造企業へ

本資料および本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

VI: 質疑応答



お問い合わせ先

STANDARD
証券コード: 2498



株式会社
オリエンタルコンサルタンツホールディングス

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <https://www.oriconhd.jp/>

(銘柄略称: オリコンHD / 証券コード: 2498)

問合せ 統括本部 橘 義規

e-mail: ir@oriconhd.jp

Appendix



(1)業界での地位①

業界上位10社に当社グループ会社が2社

建設コンサルタント部門売上高ランキング

順位	会社名	売上高 (百万円)	前期比
1	日本工営	65,577	+2.1%
2	パシフィックコンサルタンツ	61,658	+6.8%
3	建設技術研究所	58,872	+4.7%
4	オリエンタルコンサルタンツグローバル	35,870	+19.6%
5	オリエンタルコンサルタンツ	35,236	+5.3%
6	大日本ダイヤコンサルタント	30,459	+8.1%
7	八千代エンジニアリング	26,539	+3.8%
8	エイト日本技術開発	24,037	+2.7%
9	応用地質	23,548	+11.3%
10	日水コン	22,900	+3.6%

出典：日経コンストラクション(2026. 4. 20)「特集 建設コンサルタント決算ランキング2026」
「建設コンサルタント部門売上高ランキング」

(2)業界での地位②

海外市場では当社グループ会社が1位

海外ODA売上高(単体)ランキング

順位	会社名	売上高 (百万円)	前期比
1	オリエンタルコンサルタンツグローバル	33,637	+21.0%
2	日本工営	21,318	-0.9%
3	片平エンジニアリング・インターナショナル	7,246	+26.8%
4	パシフィックコンサルタンツ	3,712	+8.9%
5	八千代エンジニアリング	3,664	+8.2%
6	国際航業	1,391	-23.0%
7	三祐コンサルタンツ	1,381	-24.4%
8	日水コン	895	-15.2%
9	トーニチコンサルタント	884	+31.0%
10	東電設計	778	-69.7%

出典:日経コンストラクション(2026. 4. 20)「特集 建設コンサルタント決算ランキング2026」
「海外売上高ランキング」

(3)株主優待制度の拡充

2020年6月末より、株主優待制度を拡充

当社株式の保有株式数、保有期間に応じて、**クオカード**を贈呈

保有株式数	拡充前	2020年6月末拡充後
200株以上 1,200株未満	500円分	
1,200株以上 2,000株未満	3,000円分	
2,000株以上	5,000円分	保有期間5年未満 5,000円分 保有期間5年以上 10,000円分

※1 毎年6月末日現在、当社株式2单元(200株)以上を1年以上継続して保有されている株主様が対象

※2 2025年9月30日を基準日とした株式分割(普通株式1株につき2株の割合をもって株式を分割)
に伴い、株主優待制度も一部変更

(4) 資本コストや株価を意識した経営

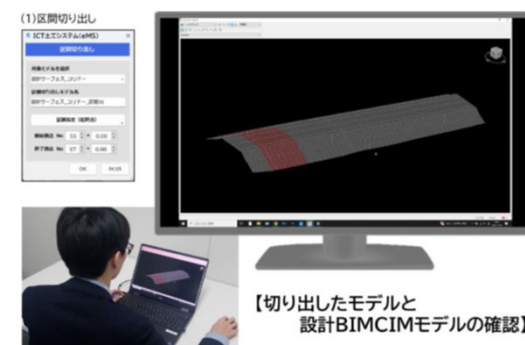
	単位	2021/9 (16期)	2022/9 (17期)	2023/9 (18期)	2024/9 (19期)	2025/9 (20期)
一株当たり純利益	円	147	235	237	214	318
一株当たり純資産	円	1,213	1,597	1,826	2,027	2,365
自己資本純利益率(ROE)	%	13.1	16.6	13.9	11.2	14.5
株価(期末)	円	1,491	1,248	1,310	2,133	3,195
株価収益率(PER)	倍	10.1	5.3	5.5	10.0	10.0
株価純資産倍率(PBR)	倍	1.2	0.8	0.7	1.1	1.4
自己資本比率	%	28.0	33.9	35.3	37.4	36.4

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例①

<国内事業(インフラ整備・保全)>

■ICT施工用データ自動変換システム「eMS」を開発

- ・設計時のBIM/CIMデータを、現場条件に応じたICT施工用データに自動変換できるシステム「eMS」を開発
- ・国道4号水沢東バイパスの道路改良工事で、ICT土工工事における有効性を実証



「eMS」で設計BIM/CIM を加工している様子

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
株式会社 エイテック
Advanced Technology Enables Comfortable Life

■インフラマネジメント支援システム(橋梁版、舗装版)」を開発

- ・維持管理のマネジメントを最適化する「インフラマネジメント支援システム(橋梁版、舗装版)」を開発
- ・維持管理領域におけるデジタル化を目指し、DX事業の一環として推進



システムの画面イメージ

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
Research & Solution
株式会社リサーチ アンド ソリューション

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例②

<国内事業(インフラ整備・保全)>

■MR技術を用いた駅舎点検

- ・駅舎点検の支援として、駅構内の不具合箇所を効率的に確認することが可能となるMR技術を開発

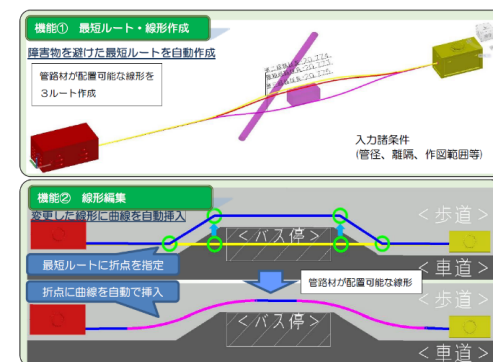
ATK 株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング



デバイス装着時の表示イメージ デバイスを装着して点検する様子

■電線共同溝3D設計支援システムを開発

- ・電線共同溝事業の計画・設計段階から施工段階の円滑な事業推進に資する管路の自動設計システムを開発
- ・本システムは、自治体様発注の実事業にて試行中であり、その結果を踏まえ機能向上 など、DX化を促進



電線共同溝3D 設計支援システムの概要

株式会社 エイテック
Advanced Technology Enables Comfortable Life

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例③

<国内事業(インフラ整備・保全)>

■(国内)「令和5年度 インフラDX大賞 国土交通大臣賞」受賞に貢献

- ・「橋梁架け替え事業の全プロセスにおけるDX技術の試行」(京都府和束町、大阪公立大、OC)
- ・DX技術の導入・試行により、橋梁工事の工期短縮を実現、若手職員の技術力向上や地元施工者の意識向上の実現等が評価される

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
OC GLOBAL

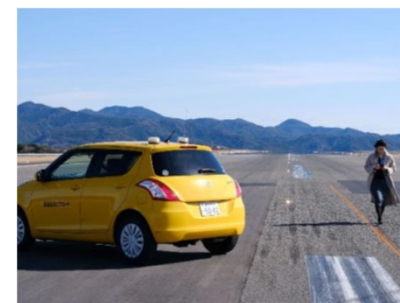


表彰式の様子

■2022年度インフラメンテナンス プロジェクト賞 受賞

- ・「ドライブレコーダー×AI」を活用した空港滑走路の調査及び点検が、土木学会主催の「2022年度インフラメンテナンス プロジェクト賞」を受賞
- ・「AIによる自動検知」により、滑走路の損傷見落としリスクの軽減、定量的な損傷の把握が可能

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
ORICON



パトロール車でのドラレコ点検

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例④

<国内事業(水管理・保全・防災)>

■3D管内図で河川管理をプラットフォーム化

- ・河川管内図にBIM/CIMデータを統合し、巡視、河道、施設、環境などの情報を一元管理できるプラットフォームを構築
- ・事業の事前検討や職員の管理業務などの効率化、関係者協議の円滑化などに活用



3D管内図を用いた情報の一元管理

■国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」にてグランプリを受賞

- ・愛知県西三河5市にて開発を実施した「給排水工事オンライン申請システム」の取り組みがグランプリを受賞
- ・本システムの導入により、事務作業の効率化と大幅な経費削減も実現



給排水工事オンライン申請システムのイメージ

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例⑤

<国内事業(水管理・保全・防災)>

■防災DXによる災害時の防災行政マネジメントの実施

- ・ 防災DXの一環として、東京都八丈町に「防災行政マネジメントシステム」を導入・支援し、八丈町を襲来した台風に対する検証を実施
- ・ 今後、防災行政マネジメントに対して、DX技術を活用した支援を展開



台風第16号における災害支援の様子

■SAR衛星からの『標高モニタリング技術』を開発(特許出願済)

- ・ 日本電気(株)様と共同し、SAR衛星で取得した2つの異なる時期のデータから標高をモニタリングする技術を開発
- ・ 今後も、効果的な流域治水を支援し、流域全体の安全・安心に貢献



開発技術の概要

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例⑥

<国内事業(水管理・保全・防災)>

■水道・下水道施設管理システムを開発

- ・事業体、コンサルタント会社、施工会社、維持管理会社の円滑な連携をサポートし、DXの基盤となる水道・下水道施設管理システムを開発



水道・下水道施設管理システムのイメージ

■土木学会「インフラメンテナンス表彰(チャレンジ賞)」受賞

- ・木曽川上流の河川維持管理における、AI画像解析等の活用
- ・AI画像解析等の活用により、河道の維持管理の効率化、適正化を実現し、河川管理の予防保全に貢献



AI解析等の活用イメージ

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例⑦

<国内事業(交通)>

■AI技術を活用した安全で快適な交通環境づくり

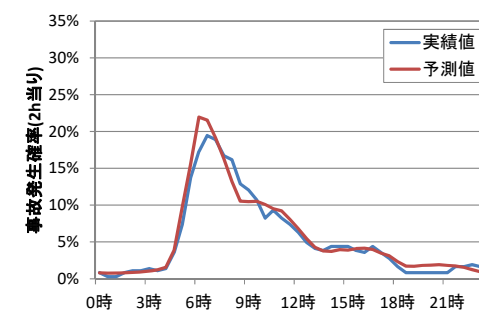
- ・AI、ビッグデータ等の最新のデジタル技術も活用し、有効な交通事故対策や渋滞対策の立案など、安全で快適な移動を実現し、安心して暮らせるまちづくりに貢献



ドラレコのカメラ映像から
車両等を自動認識

■AIを用いた近未来の交通事故リスクのオンライン予測技術を開発

- ・(株)エクサウィザーズ様と共同で、AIを活用した近未来の交通事故リスクをオンラインで予測する技術を開発
- ・2時間先までの事故発生確率が予測可能
- ・今後の事故抑止、道路管理高度化に活用



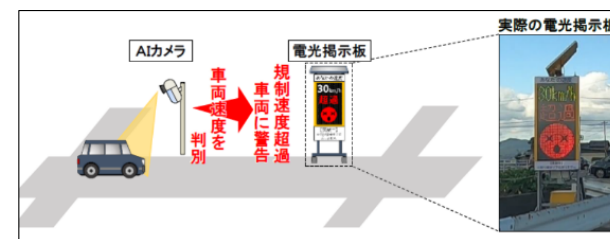
精度検証結果の例

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例⑧

<国内事業(交通)>

■AIカメラとLED電光掲示板を連動させた新たな交通安全対策の実証実験を実施

- ・佐賀県杵島郡江北町と連携・協働し、実証実験を行い、速度抑制効果を検証
- ・今後も継続的な技術開発等を行い、安全で安心な生活道路の実現に貢献



AIカメラとLED電光掲示板による対策イメージ

■AIデマンドタクシーの予約アプリを開発

- ・熊本県荒尾市で運行する「おもやいたクシー」の利便性向上のため、観光と交通を掛け合わせたアプリを開発
- ・アプリの提供により、「おもやいたクシー」の利用促進に期待



開発したアプリの画面イメージ

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例⑨

<国内事業(交通)>

■国交省「令和4年度インフラDX大賞(工事・業務部門)優秀賞」受賞

- ・ AIを活用した交通事故分析手法が受賞
- ・ 当該技術の活用とともに、さらなる技術開発に取組み、安全・安心な交通社会の実現に貢献



表彰式の様子

■「令和5年度みちのくインフラDX奨励賞【工事・業務部門】※1」受賞

- ・ MMS※2による3D点群データを活用したドライビングシミュレータ(VR)により、交通安全対策検討手法の精度向上が評価される

※1 主催：東北地整「東北みらいDX・i-Construction連絡調整会議」

※2 MMS(モービルマッピングシステム): 車両に搭載した3次元レーザー計測機とデジタルカメラによって、走りながらスピーディに高精度の3次元空間情報を取得する測量システム



授賞式の様子

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例⑩

<国内事業(地方創生)>

■三重広域連携モデル「美村プロジェクト」

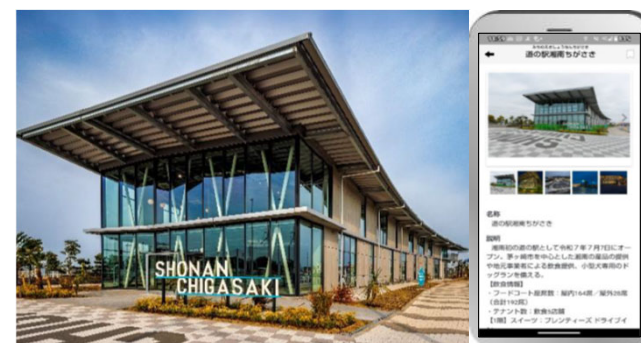
- ・「デジタル田園都市国家構想・三重広域連携モデル事業」の運営に向け、デジタル技術を活用した新たなまちづくりを推進
- ・地域の多様なデジタルサービス等との連携とマイナンバーカードの活用により、地域の魅力を住民や観光客等に体験いただく「美村パスポートサービス」を開始



アプリ画面イメージ

■道の駅湘南ちがさき公式アプリ「周遊手形“縁”」を開発

- ・観光スポットや店舗・イベント開催等の情報を提供するアプリ「周遊手形“縁”」を開発
- ・アプリの提供により、道の駅への集客や周遊による消費拡大など地域活性化を支援



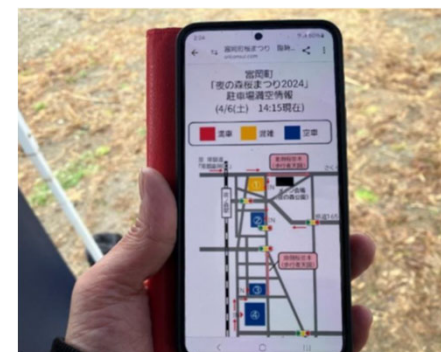
道の駅湘南ちがさきとアプリイメージ

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例⑪

<国内事業(地方創生)>

■DXによる地域課題の解決および「地域の賑わい」の可視化を実施

- ・復興庁の「浜通り復興リビングラボ実証事業」公募に採択され、復興に向けた取組みを検討
- ・福島県富岡町にて、「夜の森桜まつり 2024」の駐車場満空情報提供等を実施
- ・次年度の開催に向けた提言書を報告



駐車場満空情報の提供イメージ

■南アルプス山岳観光予約システムを開発

- ・南アルプス市観光協会様と連携しシステムを開発、2021年5月より運用を開始
- ・新型コロナウイルス感染症対策や観光利便性向上等の課題解決、地方創生に向けた観光DXを推進



南アルプス山岳観光予約システムの画面イメージ

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例⑫

<海外事業(スマートシティ開発事業)>

■マニラ首都圏南北通勤線延伸 TOD開発(フィリピン国)

- ・都市鉄道沿線に「公共交通指向型都市開発(TOD)」を推進し、効率的で利便性の高いまちづくりを実現
- ・今後、リアルタイムGIS※を活用した情報共有システムの開発、都市空間からのストリームデータの見える化等を推進

※「GIS」とは、地理的位置情報のデータを総合的に管理・加工し、高度な分析等が可能となる技術

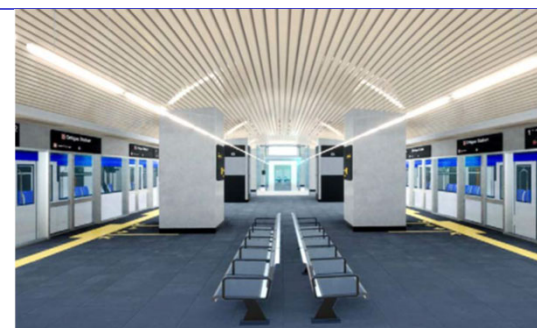


都市開発イメージ

<海外事業(DX事業)>

■VRによるBIMデータの利活用検討(フィリピン国)

- ・マニラにおける3つの鉄道事業にてVRデータを作成することで、より直感的な情報共有や研修を実現
- ・今後もフィリピン運輸省と密に連携しながらさまざまな場面でのDX化の実現を推進



マニラ首都圏地下鉄駅のVR空間イメージ

(5)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例⑬

<海外事業(DX事業)>

■フィリピン国鉄道事業で全路線へのBIM導入を実施(フィリピン国)

- ・フィリピン国での鉄道事業において全路線へのBIM導入を実施し、次世代O&M※の取組みを推進
- ・今後、その他の鉄道事業や道路、建築事業においても、BIMの導入を展開

※「O&M」とは、オペレーション&メンテナンスの略で、運転管理業務、維持管理業務を行う事業のこと



株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



BIM設計イメージ(駅)

■SAR衛星 を活用した事業開発の推進

- ・小型SAR衛星の開発・運用、衛星データ・ソリューションを提供する(株)Synspective様と戦略的提携の覚書を締結
- ・大規模インフラ事業でのSAR衛星データ活用 of 取組みを推進

※ SAR衛星は、マイクロ波を使って地形や構造物の形を観測するため、雲を透過し昼夜を問わず地球観測が可能な衛星



株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



SAR衛星イメージ

(6)ESG投資への取組み例①(環境(Environment))

■ 指宿産農産物の冷凍加工工場の建設を推進(鹿児島県指宿市)

- ・安全・安心・高品質な農産加工品の提供、食品廃棄ロス削減等の環境配慮型加工を目指し、冷凍加工工場建設に向けた立地協定を指宿市と締結
- ・SDGsに貢献する農産物の付加価値化を推進し、環境に配慮した持続可能な農業の確立を目指す



加工工場のイメージ

■ 環境に配慮した持続可能な農業の確立などに貢献(鹿児島県指宿市)

- ・オクラ・スナップえんどうの営農事業の実施とともに、オクラをはじめとした指宿産農産物の加工事業を実施中
- ・環境に配慮した持続可能な農業の確立および地域の活性化を推進



オクラの栽培風景

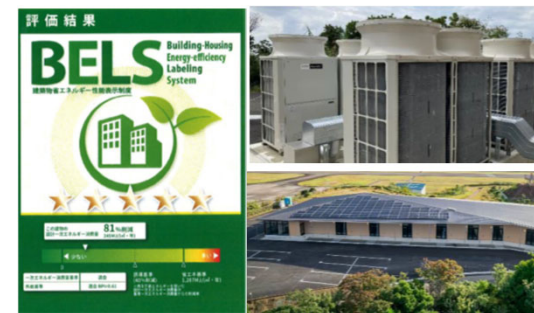
(6)ESG投資への取組み例②(環境(Environment))

■南紀白浜空港展望広場内ビジネス拠点「Office Cloud 9」が BELSの最高評価「星5」と「Nearly ZEB」認証を同時取得(和歌山県白浜町)

- ・高効率空調設備等自然環境に配慮した取組み、太陽光発電システム導入によるエネルギー消費量の削減が評価される

※BELS:建築物省エネルギー性能表示制度

※ZEB:年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物



左: BELS 評価結果 右:環境に配慮した設備

■里山里海の保全・利用の取組みに貢献(石川県白山市)

- ・「里山里海における新たな価値の創造」や「多様な主体の参画による新しい里山づくり」など、地域の皆様と協働し、キャンプ場登山道の再生等の取組みを推進
- ・同取組みが評価され、国土緑化推進機構の理事長賞を受賞

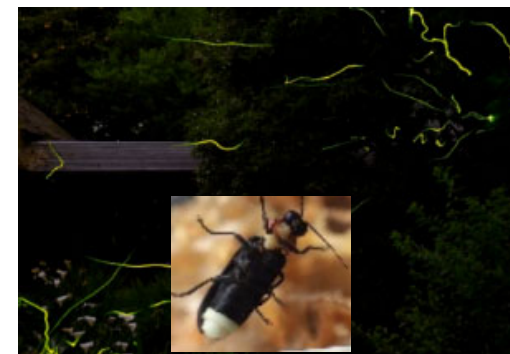


登山道再生に向けた活動の様子

(6)ESG投資への取組み例③(環境(Environment))

■開成町の魅力向上、環境保全等に貢献(神奈川県開成町)

- ・指定管理事業の瀬戸屋敷で、ホタルの再生に向けた飼育や環境学習、見学会など、グリーンインフラの取組みを推進
- ・子会社瀬戸酒造店の敷地内にて飼育したホタルの成虫の飛翔を確認



瀬戸屋敷で乱舞するホタル

■小田原の環境保全、農業振興、地域活性化に貢献(神奈川県小田原市)

- ・「冬みず田んぼカモ米プロジェクト」により、小田原市の環境保全、農業振興、地域活性化に貢献
- ・地域の方々とともに、①農業体験、②生き物観察会、③かまどでお米を炊いて食べるイベントを開催



農業体験イベント(田植え)

(6)ESG投資への取組み例④(社会(Social))

■ 様々なCSR活動を通じて、地域社会に貢献

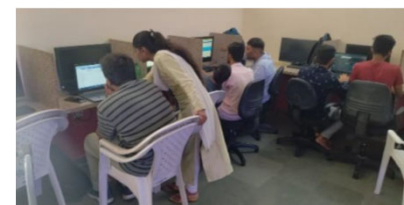
- ・2002年より、毎年4月に、公園の清掃活動を継続的に実施
(2020年～2023年までは新型コロナウイルス感染症拡大のため中断、
2024年から再開)
- ・その他、グループ各社の各拠点にて、河川清掃や道路清掃、地域清掃等、CSR活動を実施



毎年100名前後が参加
(公園清掃活動)

■ インド国の非営利団体に寄贈・寄付

- ・インド首相府設立「首相の市民支援と緊急事態救済基金」への寄付を、2020年から毎年実施、2025年は約360万円を寄付
- ・また、2023年には、様々な障がいを持つ児童を対象に、学校や病院を運営している団体に、スクールバス1台、パソコン28台、電動三輪自動車2台を寄贈



上段：寄贈したスクールバス
下段：NGO団体に寄付したPCで学習する様子